令和９年度新規採用職員募集要項

土木研究所は、土木技術に関する様々な分野の研究開発とその総合化、さらにプロジェクトマネジメントを通じて、現場に役立つ土木技術の向上を達成し、もって社会にイノベーションをもたらし、「より良い世の中」の実現を一緒に目指していただける方を募集します。

応募される際は本募集要項とともに、以下に示す土木研究所の新規採用の Web サイトをご確認ください。
https://www.pwri.go.jp/jpn/recruit/about_PWRI.html

＜選考ステップ＞

（1）　採用試験の申込み

- エントリー
  マイナビ 2027 の土木研究所のページのエントリーボタンを押してください。
  登録期間：3 月 1 日（日）～3 月 16 日（月）
- エントリーシート
  様式は、土木研究所の Web サイトからダウンロードして下さい。
  https://www.pwri.go.jp/jpn/recruit/apply.html
  記入後、マイナビ 2027 の My CareerBox に提出してください。
  ※エントリーした方に、My CareerBox への提出依頼をお送りします。
  提出締切：3 月 18 日（水）

（2）　1 次選考（書類選考）

（a）事前課題

様式は、土木研究所の Web サイトからダウンロードして下さい。
https://www.pwri.go.jp/jpn/recruit/apply.html
事前課題では、自身の行っている（これから行いたい）研究テーマについて、課題になっている事柄とその解決策を、自分なりに考えて記述してください 。
記入後、マイナビ 2027 の My CareerBox に提出してください。
提出締切：3 月 23 日（月）

（b）適性検査

詳細は、エントリーシート提出者に、別途ご連絡いたします。
受検締切：3 月 23 日（月）

１次選考（書類選考）結果は、**4 月中旬**までに通知予定です。

(3)　２次選考（グループディスカッション）

- 4 月下旬頃にオンライン上で実施予定です（１時間程度）。
- 詳細は、１次選考（書類選考）通過者に別途ご連絡いたします。

２次選考（グループディスカッション）結果は、**4 月下旬～５月上旬**までに通知予定です。

(4)　最終選考（面接、プレゼンテーション）

- 5 月下旬に東京都内で実施予定です。
- 大学院（博士・修士課程）を修了見込みまたは修了した者は、事前課題で記載した研究テーマにおける背景、課題、実施内容および社会への還元について、パワーポイントを用いてプレゼンテーションしていただきます。
- 大学、短期大学および高等専門学校を卒業見込みまたは卒業した者は、事前課題で記載した内容について、簡潔にプレゼンテーションしていただきます（パワーポイント使用可）。
- 研究テーマやプレゼンテーションの内容が、土木研究所の活動領域と一致している必要はございません。
- 詳細は、２次選考（グループディスカッション）通過者に別途ご連絡いたします。

最終選考結果は、**5 月下旬～6 月上旬頃**までに通知予定です。

＜募集要件＞

〇職　種

研究職

〇職務内容

「土木研究所の活動領域」において、主に以下の職務を行います。

- 土木技術の向上に関する研究開発
- 行政等への技術支援
- 開発技術の普及

〇応募資格

令和 9 年(2027 年)3 月までに工学、農学、理学及びそれに類する分野のいずれかに該当する大学院（博士・修士課程）・大学・短期大学・高等専門学校を修了・卒業見込みの者、または令和 9 年(2027 年)3 月時点で修了・卒業後 3 年程度以内の者(就業経験を有する者を含む)

業務の遂行に必要な日本語能力を有することを条件とします。なお、日本国籍を有していない者は、採用予定日までに日本国内における当研究所で就労するために必要な在留資格を取得してください。

※欠格事項

次のいずれかに該当する場合は、採用試験を受けることができません。

・禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでの者またはその刑の執行猶予の期間中の者その他その執行を受けることがなくなるまでの者

・日本国憲法またはそのもとに成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党、その他の団体を結成し、またはこれに加入した者

〇採用予定日

原則として令和 9 年（2027 年）4 月 1 日

〇任　期

採用にあたっては、定年制での雇用を前提とします。なお、当面の任期は 3 年間とし、本人の意思等を確認した上で定年制に移行します。

また、採用予定日時点において、国家公務員採用総合職試験(院卒者試験または大卒程度試験)の採用候補者名簿に登録されている者(2027 年度土木研究所新規採用者募集においては、2024 年、2025 年、2026 年度の合格者）は、希望した場合、定年制として雇用します。ただし、対象となる試験区分は、以下のとおりです。

①工学、②デジタル、③数理科学・物理・地球科学、④化学・生物・薬学、⑤農業科学・水産、⑥農業農村工学、⑦森林・自然環境

〇採用予定者数

最大 10 名程度

〇勤務地

茨城県つくば市　（つくば中央研究所、水災害・リスクマネジメント国際センター、構造物メンテナンス研究センター、先端材料資源研究センター）

北海道札幌市　　（寒地土木研究所）

新潟県妙高市　　（雪崩・地すべり研究センター）

岐阜県各務原市　（自然共生研究センター）

東京都千代田区　（戦略的イノベーション研究推進事務局）

※上記の勤務地間を異動する場合や、国等の行政機関へ出向し、勤務地が変更になる場合があります。

＜勤務条件＞

令和 8 年(2026 年)3 月 1 日時点の内容です。国家公務員に準じています。

〇勤務日および勤務時間

月～金　8:30～17:15（フレックスタイム制度あり）

〇給与等

基　本　給：博士修了：313,000 円
修士修了：281,900 円
学部卒業：259,200 円
短大・高専卒業：238,600 円
※それぞれの基本給は学歴や職歴により加算有り

その他手当：地域手当、時間外勤務手当、扶養手当、通勤手当等を支給

賞　　与：年 2 回（6 月、12 月）

昇　　給：年 1 回

〇社会保険

国土交通省共済組合、雇用保険に加入

〇休日

土日、祝祭日および年末年始（12 月 29 日から 1 月 3 日まで）

〇年次有給休暇

採用の年は 15 日／年（4 月 1 日採用の場合）、翌年からは 20 日／年
20 日／年まで翌年に繰越可

〇特別休暇

夏季休暇 3 日間のほか、結婚、出産、忌引等の場合

〇住　居

空きがある場合には、公務員宿舎に入居可能です。

賃貸住宅に入居する場合は、土木研究所の規程により住居手当を支給します。

〇子育て支援制度

土木研究所は「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定（くるみん認定）を受けており、仕事と家庭の両立に向けた制度が充実しています。

〇女性活躍推進

土木研究所は女性活躍推進行動計画に基づき、女性研究職員の積極的な採用を進めています。

【問い合わせ先】

国立研究開発法人土木研究所　企画部研究企画課　採用担当

〒305-8516　茨城県つくば市南原１－６

TEL　029-879-6751　　Mail : recu-kikaku@pwri.go.jp

https://www.pwri.go.jp/jpn/recruit/index.html

土木研究所の活動領域

No	組織 活動領域※2	つくば中央研究所等※1	寒地土木研究所 （主に寒冷地域対象）
①	地質・地盤	地質	
		土質・地盤	
		土工構造物	
②	道路	橋梁	
		舗装	
		トンネル	－
		－	道路交通
		－	雪氷
③	砂防	土石流、地すべり	－
		雪崩	
④	河川・ダム・ 海岸	河川	
		水災害	
		ダム水理	－
		－	海岸・港湾・沿岸施設
⑤	環境	河川環境	
		水質・衛生	
⑥	材料	土木材料	
⑦	機械・情報	建設機械・機械設備・情報通信・電気通信設備	
⑧	農業・水産	－	農業土木・土壌・灌漑
		－	水産土木
⑨	地域・景観	－	景観・まちづくり
⑩	技術マネジメント・ 研究企画	研究開発成果の普及、技術移転促進、研究推進業務、研究開発評価対応、災害対応、国際協力、広報等	
⑪	プロジェクト マネジメント	研究開発成果の社会実装に向けたプロジェクト管理等	

★研究職の方には、①～⑨の領域において研究開発に取り組んでいただくことを基本としています。そのうえで、目標達成のために、分野横断的な取り組みも活発に行っていただきます。また、優れた研究開発成果の実装や新たなイノベーションをもたらすために、分野や組織を超えた様々なマネジメント（⑩、⑪）に取り組んでいただくこともあります。

※1 水災害・リスクマネジメント国際センター、構造物メンテナンス研究センター、先端材料資源研究センター、雪崩・地すべり研究センター、自然共生研究センター、戦略的イノベーション研究推進事務局を含みます。

※2 研究の実力をさらに高めるために、土木における研究成果を活用する現場の課題を学ぶ目的で、国等の行政機関へ出向することがあります。

現在実施している研究内容、土木研究所の活動領域の詳細は、以下をご参照ください。

https://www.pwri.go.jp/jpn/research/team/index.html

https://www.pwri.go.jp/jpn/about/pr/publication/pdf/pamphlet2025.pdf